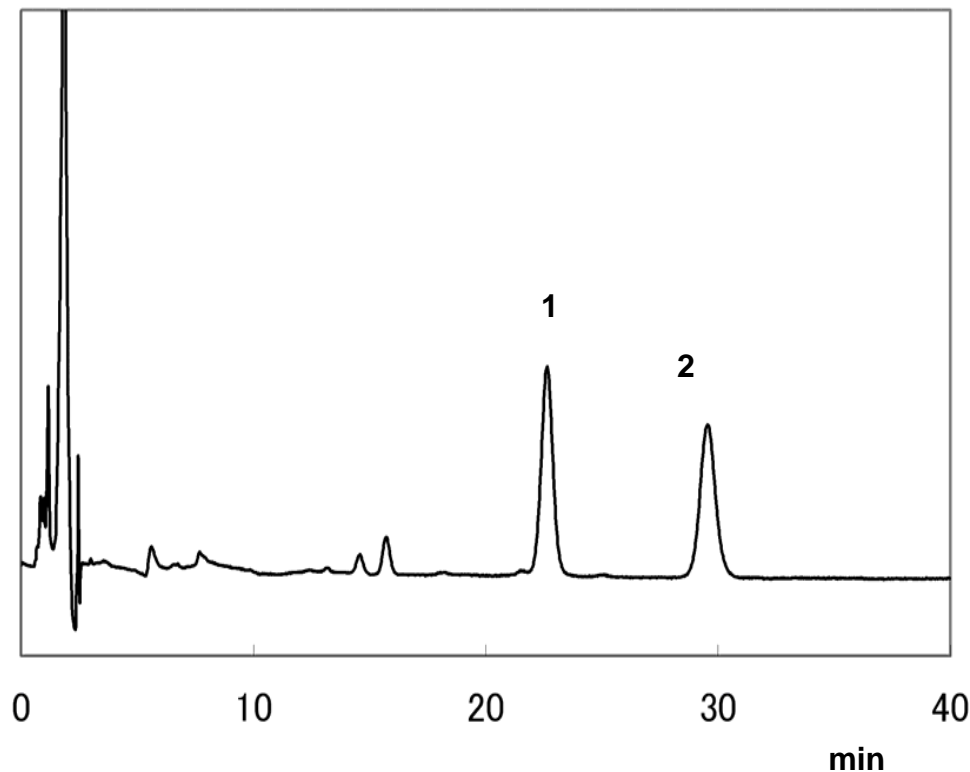




ニンジン(人参)の成分定量法:システム適合性

ーギンセノシドRb1ー

ー第十六改正 日本薬局方よりー



Column: TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 40 $^{\circ}$ C

Eluent: H₂O : CH₃CN = 7: 3

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (203nm)

Injection vol.: 10 μ L

Concentration: 100 μ g/mL

Samples:

1: Ginsenoside Rb1

2: Ginsenoside Rc

$R_s = 6.4$



ニンジン(人参)の成分定量法

ーギンセノシドRb1ー

ー第十六改正 日本薬局方よりー

定量法

(2) ギンセノシド Rb1

試験条件

検出器: 紫外吸光光度計(測定波長: 203 nm)

カラム: 内径 4.6 mm、長さ 15 cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 40 °C付近の一定温度

移動相: 水/アセトニトリル混液(7:3)

流量: ギンセノシド Rb1 の保持時間が約 20 分になるように調整する。



ニンジン(人参)の成分定量法

ーギンセノシドRb1ー

ー第十六改正 日本薬局方よりー

定量法

(2) ギンセノシド Rb1

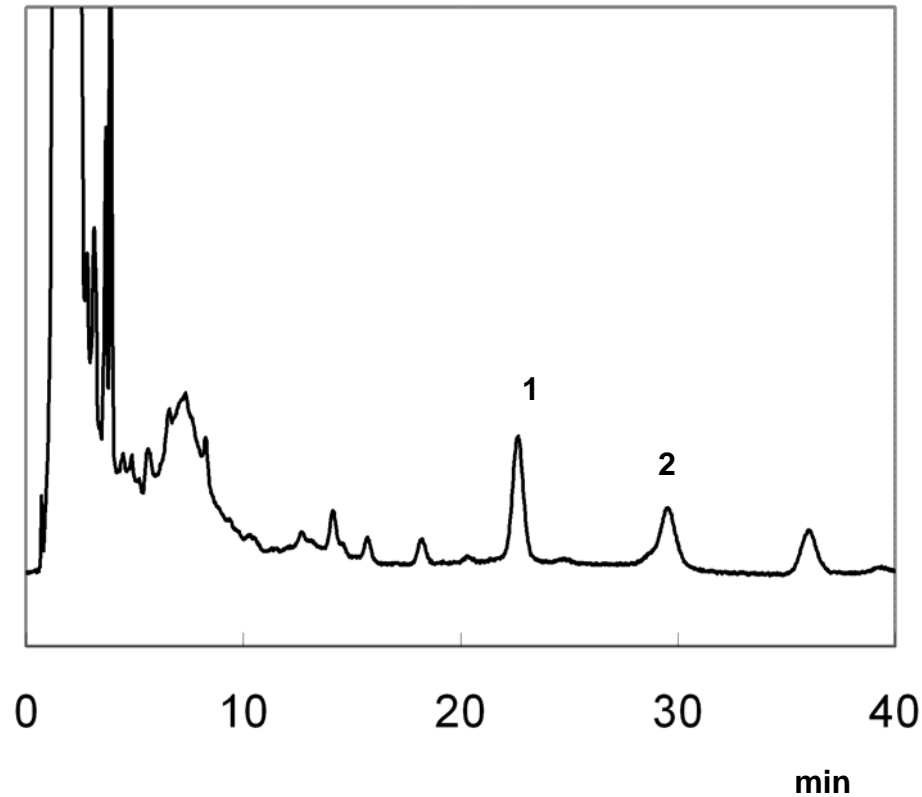
システム適合性

システムの性能: ギンセノシド Rb1 標準品及びギンセノシド Rc 1 mg ずつを薄めたメタノール(3→5) に溶かして 10 mL とする。この液 10 μ L につき、上記の条件で操作するとき、ギンセノシド Rb1、ギンセノシド Rc の順に溶出し、その分離度は 3 以上である。

ニンジン(人参)の成分定量

—ギンセノシドRb1—

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 40 $^{\circ}$ C

Eluent: H₂O : CH₃CN = 7: 3

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (203nm)

Injection vol.: 10 μ L

Samples:

1: Ginsenoside Rb1

2: Ginsenoside Rc